

NPO法人古賀志山を守ろう会活動記録

活動日	令和6年3月7日（木）臨時	活動場所	北コース富士見沢丸太橋		
活動内容	傾いた檜の伐採				
参加者	大出 忠	平野 昭夫	三輪 健治	村田 鉄三	藤沼 力
	原田 昌廣	奈良 忠男	増田 弘文	下田 克明	池田正夫

今回の伐採作業は困難を極めた。富士見沢右岸の斜面に風雪に耐えられず根元から富士見沢側に倒れ掛かった一本の檜があった。このままでは丸太橋の直撃は免れない。国有林のため日光森林管理署に連絡し、現場確認をお願いした結果、伐採許可が下りたため、今回の伐採作業に至った。



既に完成している丸太橋直撃を避けるためにアイデアを出し合い、残っていた檜丸太を利用して付近の檜に横木を縛り付けクッション役になる通称「馬」を取り付ける方策を取り作業に取り掛かった。

この「馬」の取り付けは上下二か所に取付ける方法をとった。

この丸太の「馬」を二か所に取り付けたことが見事な役目を果たし丸太橋の手すりのパイプ管への直撃は間一髪を免れた。この作戦は効を奏し丸太橋は被害を免れたことは最大の喜びであった。伐採された檜は切断し片付けた。

日光森林管理署には無事作業が完了したことを電話にて報告した。

